

平成 29 年度 第 1 回 恵庭市図書館協議会 会議録

日 時 : 平成 29 年 6 月 23 日 (金) 15 : 30 ~ 16 : 45
会 場 : 恵庭市立図書館本館 会議室
出席者 : (委員) 会長ほか委員 5 名
(教育委員会・事務局) 教育長、教育部次長[社会教育]
読書推進課長・同課主査・主事
(市立図書館) 図書館長

1. 開 会

2. 挨拶 教育長・図書館協議会会長

3. 委嘱状交付 新規就任委員へ教育長から委嘱状に交付

4. 議 題 (1) 平成 28 年度 図書館実績報告について
(2) 平成 29 年度 図書館事業計画について

5. 議事録内容

■ 報 告

(1) 平成 28 年度 図書館実績報告について (配付資料により事務局説明)

◎ 質 疑

A 委員 島松分館の貸出冊数は 3 館で最も少ないが、何か原因がありますか。

事務局 島松分館は、対象サービス人口、蔵書冊数とも 3 館中最も低く、そのため利用者数も少ない状況にあります。

B 委員 島松分館の利用の低さは、本館が近いというのが理由の一つと思います。文庫などは島松分館が充実しているが、施設が手狭であり、じっくり読書したい人は本館を利用するのではないかと思います。

C 委員 本館の入館者数が減少したという報告だったが、去年は視聴覚室を工事しており、その影響があったのではありませんか。

事務局 例年、視聴覚室では夏季休業中に子ども対象の行事を行っていますが、去年はその時期に視聴覚室を工事のため閉鎖し、映画会などの事業を行えませんでした。これも入館者減少の一因と分析しています。

C 委員 工事によりギャラリーも使用できなかったことで、ギャラリー見学者の減も影響しているのではないかと思います。工事が終了したことで入館者数も復活するのではありませんか。

事務局 ギャラリーは3カ月間程使用を停止しており、この間ギャラリー展示を見学する方がいなかったことも入館者減少の原因の一つと考えています。

E 委員 入館者数が1年間で5千人以上も減少していますが。

事務局 昨年9月の恵庭市生涯学習施設「かしわのもり」が開設により、「かしわブックステーション」が同時に開設されたことで、恵庭分館を利用していた子どもたちがそちらを利用するようになったことも影響しているのではないかと捉えています。

インターネットを活用した予約の冊数は大きく増加していますが、貸出冊数全体は減少しています。これは、本館・分館で予約本を受け取る際に他の図書を閲覧し借りることもありますが、ブックステーションには図書館の蔵書がないため、予約本だけの貸出しということになり、これも理由の一つではないかと考えています。

指定管理事業者へは、新規利用者の拡大を図り、利用の増加につなげる取り組みをお願いしています。その一つとして、児童の図書館利用者カード作成のチラシ配付について夏季休業前に小学校に依頼する予定です。

D 委員 ブックステーションは予約をした本を受け取るというものだが、設置している施設には子育て支援センターを併設しているので、図書館が読み聞かせなどの催し物をそこで開催し、読み聞かせがあるときは図書館の本が借りられるということをお知らせしていけば貸出につながるのではと思います。

また、恵庭分館だけ蔵書数が減少していますが、何か大きな見直しをしたのですか。毎年図書を購入していると思いますが。

事務局 恵庭分館の蔵書数は、平成27年度と比較すると平成28年度は減少しています。これは恵庭分館書庫の整理を大幅に行ったためです。複本等を本館に移管したため、減少しているように見えますが、移管した本は本館の蔵書として登録しています。廃棄処理した本もありますが、恵庭分館の開架部分の蔵書数に変更はありません。

E 委員 ベストセラーは何冊か購入していますか。

事務局 昨年度までは全館で5冊を上限として購入していました。

図書館長 現在、図書館では図書購入に関しては、昨年までと同様の対応をしています。

E 委員 民間の側に立つわけではありませんが、公共図書館のベストセラー大量購入は、全国的に行われ、出版社の利益を損なうということで問題にもなっている。

C 委員 新刊書は1年遅れで購入しているではありませんか。

事務局 新刊書は出版後にそれほど時間を置かないで購入していましたし、今後も同様に行われると思います。ベストセラー本の大量購入はしていませんが、寄贈いただいた場合は5冊を超えても受入れています。

C 委員 登録者数が増加しているとのことだが、年代層はどうなっていますか。

事務局 平成27年度の統計でお答えしますと30代が最も多い状況です。
本市は高等教育機関が複数有り、市外からの通学者も多いため、学生層の登録者は高い状

況にあります。なお、未利用期間が10年続くと登録抹消しますが、それまでは有効登録者としてカウントしているため、定期的に有効登録者の実数を把握している状況です。

E 委員 恵庭市の図書館として、どういう本を収蔵していくかは大切なことであり、ただ蔵書を増やせば良いというものでもないと思います。どのような蔵書構成にしていくのか、将来の展望はどうか。市民の要望だけに応えていけばいいというものでもありません。収蔵スペースにも限界があり、本協議会としてこの問題は自覚して取り組んでいくべきと考えます。

図書館長 蔵書スペースのキャパ的には、購入した分を処分しなければならない状況にあります。市民の読書活動を支えるための本の収集も大切ですが、読む本については他の図書館からの借用も可能です。

これからの図書館利用という視点では、調べるための書物もそろえる必要もありますが、キャパが無いという状況から厳選して購入することになります。指定管理事業者として、会社の持つノウハウや情報の活用、また教育委員会に相談しながら図書資料の収集を進めていくことになります。

B 委員 どの作家が多く検索されたかなど、図書館の検索機で検索された件数データの把握は可能ですか。

事務局 図書のランキングは可能ですが、作家名ごとは難しいと思います。

B 委員 私の好きな作家の朗読をしようと思い、図書館の検索機を使い調べたところ、高齢者にも大変人気があると思われる作家にも関わらず作品が極端に少なかった。人気度などの傾向を把握した上で選書すべきと思うがいかがですか。

事務局 今後の貴重なご意見としてお伺いします。

■ 協 議

(2) 平成 29 年度 図書館事業計画について（配付資料により図書館長・事務局説明）

E 委員 読書推進課が設置された理由を説明いただきたい。

事務局 図書館の指定管理者制度導入検討にあたり、市民の皆さまからのご意見をいただく中で、指定管理者制度導入後も担当部署を市の組織に残すという方向性を決めていったところです。組織体制、職員数、担当事務などを市民説明会等で説明していますが、今年2月に開催しました図書館協議会においても説明させていただきました。

E 委員 高校ブックラインとはどういうことを行うのですか。

事務局 高校の図書室に市立図書館の蔵書が検索・予約できるパソコンを設置し、生徒や教職員が予約した本を図書館の配本車で届けるという事業です。高校にブックポストを設置しているので返却もできます。

E 委員 実際、需要・実績はありますか。

事務局 昨年度の貸出冊数は230冊です。

平成27年度に市教委との連携を深めるため、市内道立高校2校と包括連携協定を締結し

ました。この包括連携協定を機に高校ブックライン事業を開始しましたが、道立の高校と市立の図書館という設置者が違う中でこのような連携は、北海道で初の試みだと思います。

E 委員 設置者が違う中で、よく取り組めた事業であり、評価したいと思います。

A 委員 指定管理者に伺いますが、平成 29 年度の図書館運営のスローガン、スタンスについて伺います。また、プライオリティーが高い事業はどれか、どういう効果を目指しているのかについても伺います。同様のことを市にも伺います。

事務局 恵庭市の読書活動は、平成 26 年度に策定した読書活動推進計画に基づき 38 項目の事業を進めており、10 か年の計画期間における目標指標を設定しています。

平成 29 年度の推進項目や事業につきましては、「恵庭市の社会教育」に掲載しておりますが、今年度は指定管理者制度導入の初年度でありますので、図書館の円滑な運営と引き続き学校図書館を所管していますので、児童生徒の読書活動の充実には力を注ぎたいと考えています。各事業につきましては資料に掲載しております目的等を目指して取り組んで参ります。

図書館長 市から引き継いだ初年度ということもありますし、今までやっていたことを引き継ぐということもありますので、どれか一つというより、今までの事業を大切に引き継がせていただくことが、まずは大きな今年の目的であると思います。

会社が持っているノウハウを活用して、どのようなことができるのか、活発な図書館活動を行っていた恵庭市の図書館を引き継ぎましたので、改善していくというよりは、業務を丁寧引き継ぎ、どのように発展させるかということがメインになってくると思います。新規事業としては今までと絵柄が違うもの、今まで取り組んでこなかったところをねらいながら、新たな図書館利用者を引き込むということを目指していきたいと考えています。

C 委員 広報活動の資料には、市民とともに作った「はなほんマーク」を今後も継続して使用していただきたい。

図書館長 わかりました。

■ その他・情報交換

事務局 現在、第 8 回恵庭市小中学生調べる学習コンクールの開催に向けて事業を取り進めていますが、毎回、本コンクールの審査委員を協議会から 1 名選出いただいています。事務局では、昨年の審査委員である C 委員に引き続きお願いしたいと考えており、ご審議願います。

〈委員から承認の声あり〉

A 委員 要望ですが、恵庭市民がどのような本を読んで感動したのかを知ることができれば、自分が読む本の参考になります。全国書店で実施している「本屋大賞」のように、恵庭市民に読んでもらいたい本のコンテストを行ってはどうか、検討いただきたい。

図書館長 検討いたします。

会 長 委員の皆さんから、ご意見ご感想をいただき、今年度の図書館の活動が具体的に見えてきたように思います。関係職員、図書館スタッフのこれからの働きにご期待を申し上げるとともに、私たち図書館協議会委員も、充実した読書活動について関心を持ち続けて、これからも進めていきたいと思っています。これで平成 29 年度第 1 回恵庭市図書館協議会を終了いたします。